

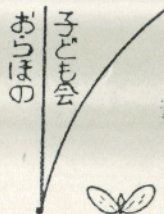
五所川原市広報

市政ニュース

昭和41年5月5日発行 第162号
毎月5、15、25日発行 一部2頁
発行所 五所川原市役所

いぬい子供会

昭和37年、吉野、岩木町の子どもたちで結成された子ども会は、名前も、乾橋のあるところからいぬい子ども会と、つけられました。



現在、会員は150人で予算は町内会からいただいております。

会の運営は、子どもたちが自主的に行っておりますが、町内会の世話役の方々のアドバイスにより、ますます発展をつづけております。

夏休みには、海岸で全員が楽しく遊び、春には卒業生を送る会等の事業をしております。また運動具もたくさん、買ってもらっておりますので、みんな元気に遊び、子どもたちも明るく成長しております。

奉仕活動として、月一回乾橋の清掃と夏まつりの花火大会のあと、北斗グラウンドの清掃をつづけて来ており、商工会議所から3回表彰をうけております。

現会長 岩谷登茂子(中学2年)を中心に、今後も社会のため、子ども会のため、奉仕活動をつづけていくことでしょう。作業のあとは、いぬい子ども会の歌を声高らかにうたいながら……

41年度予算議会

一般会計は八億九千万円

五所川原市の昭和四十一年、第三回定例市議会は、三月十八日招集、会期を二十八日までの十一日間と定め、市長の提案理由の説明のあと、三日間議案じゆつ考し、二十二日再開、昭和四十一年度の一般会計および特別会計予算など二十八議案を原案どおり可決し、二十八日閉会しました。

この議会で、決まった主なものは、つぎのとおり

▽昭和四十一年度一般会計補正予算：五一中学校地買収費、五小通学道路買収費、

県単事業負担金など、一千七百六十万三千円を追加し総額を八億七千九百四十万二千円とした

▽昭和四十一年度都市計画事業補正予算：四百八十五万九千円を追加し、総額を二億一千二百四十万二千円とした

▽昭和四十一年度西北中央病院事業補正予算：収益的収支に七十九

万四千円を追加し、収益的収入の総額を三億九千一百六十三万四千円、同支出の総額を三億六千九百二十七万三千円とした。

▽昭和四十一年度一般会計予算：昨年にくらべ、一億四千四百三十六万二千円増の八億九千五百五十四万七千円となった。なお、こ

とから、都市計画、市民文化会館、養護老人ホームの会計を吸収しております▽昭和四十一年度特別会計予算では、看護婦を養成する高等看護学院が、ことしから設置されますので、この予算の計上、国民健康保険事業助定では、今年度後半から、家族の七割給付が実施されますので、昨年にくらべ、増となっております。(内訳については、二面のタコしの子算を

ごらんください。)

▽老朽化した、公会堂を解体するための条例の廃止

なお、四月から中央公民館は、市民文化会館の別館となった。

▽児童館の利用料は、いままです五百円でしたが、諸物価の値上りにより八百円となります。

▽社会教育の一かんとし、市民の教育と文化の発

展向上をはかるため、市民文化会館別館に図書館を設置します。

▽西北中央病院の入院室料△

特等室一、五〇〇円、一等室八〇〇円、二等室甲四〇〇円、二等室乙二〇〇円、三等室甲一五〇円、三等室乙一〇〇円

監査委員に原氏

空席となっていた監査委員に、原清司氏が選任されました。

原氏は、市内大字新宮出身、明治四十三年三月二十四日生まれ、東興義塾卒業昭和二十六年から二十九年まで、中川村村長、三十四年から三十八年まで県議会議員として活躍、現在、第一中川農協組合長。

中央公民館の移転

布屋町、西北中央病院となりの市中央公民館は、老朽化がはなはだしく危険となりましたので、このほど解体されました。

なお、市中央公民館は、市民文化会館の別館に移転しましたので、今まで通りご利用ください。

電話は、従来通り二三五二です。



△提案理由を説明する市長▽

一般会計

ことしの予算

昭和41年度の五所川原市一般会計予算は、昨年度にくらべ、19.2%増の8億9,554万7千円となりました。

予算編成にあたっては、健全財政を堅持しながら、市民の福祉増進を主眼として、生活環境の整備、および社会資本の充実と、現有社会資源の効果的な活用の施策を、積極的に展開し、社会、経済、教育、文化の各分野で、均衡のとれた地域開発の推進を基本方針としております。

内訳については、つぎのグラフを見ていただき、みなさんのご協力をお願いします。

特別会計と企業会計



国民健康保険

(単位千円)

165,866



水道

投資的収入 37,775
支出 35,697
資本的支出 5,501



公営住宅

2,976



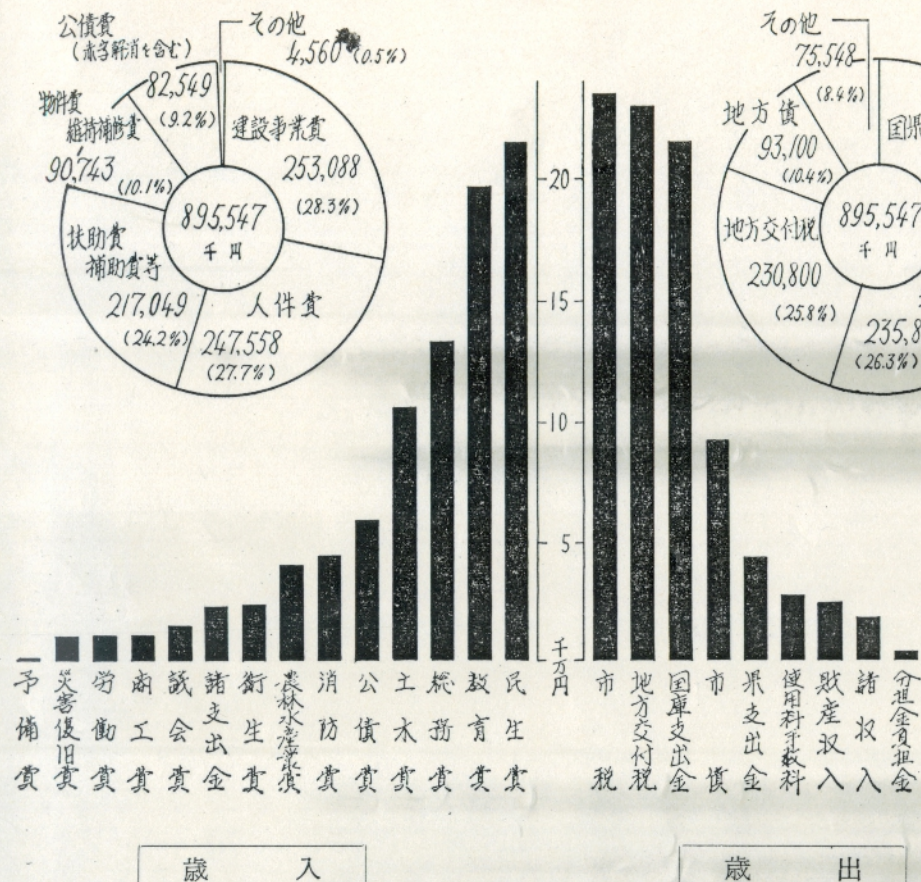
東北中央病院

投資的収入 443,182
支出 416,049
資本的収入 138,200
支出 175,655



高崎看護学院

2,112



財源の堅実なものを調査して計上しております。歳収入は、市民税の所得割が、国の減税施策をおりこんでおります。その他の税は、自然増をみこんでおります。

地方交付税、国県支出金、市債は、国の基準をもとにして計上しております。

できるだけ、むだをはぶくということから、消費的経費を節減し、社会環境の整備、産業基盤の整備、教育施設の整備、道路、公園の整備、防火体制の強化等の投資的経費に充当するように配慮しており、これから建設事業費は、昨年度にくらべ、9,000万円（55%）増を計上しております。

ことしの地区行政連絡員

五所川原地区

三橋正次郎(錦町)、兼平金雄(幾島町)、岩谷善一(柏原町)、氣田勝治(上平井町)、船田鉄雄(平井町)、鶴谷良吉(中平井町)、寺田三次郎(下平井町)、藤田留吉(さつき町)、工藤次栄(敷島町)、中野鉄男(東雲町)、唐川甚四郎(旭町)、石井征次郎(大町)、福士孝一(寺町岩木町)、山川祐治郎(末広新宮町)、小野清茂(末広町)、堀内貞三(本町)、黒滝嘉一郎(布屋町)、高橋武一(東町)、小山内繁勝(弥生町)、寺田清(鎌谷町)、平山幸三郎(第一柳町)、高橋賢次郎(第二柳町)、金沢定雄(成田町)、小田桐六右エ門(元町)、木村隆太郎(新町)、下山金四郎(田町)、福士周造(栄町)、小田桐密市(田園調布)、前田貢(十川町)、神正良(平和町)、三浦行一(小曲)、成田平司(難田)、小田桐七郎(湊団地)

栄地区

平山登、平山要作(湊)、藤田義雄(姥薮)、藤田清次郎(猫淵)、坂本健造(三ッ谷)、成田長四郎、山田武雄(稲実)、山田専太郎

中川地区

一戸源次(広田)、成田西蔵、角田平吉(七ッ館) 佐藤定一、吉岡勘十郎、川瀬与作(川山)、小野豊四郎(沖飯詰)、笠井重吉(桜田)、小野泰太郎(中泊)、館山竜次郎(種井)、奈良新吉(田川)、原定五郎(新宮)、斎藤永蔵(長橋)

三好地区

長尾千代作、開米三吉、小林一二三(鶴ヶ岡)、一戸良秋、川浪勇一、工藤直四郎、青山金作(漢川)、長尾静(高瀬)、小笠原兼吉(福井)

長橋地区

秋田善吉(浅井)、石岡善一、須藤徳一(福山)、土岐賢次郎(杉派立)、須藤留四郎(野里)、松野岩雄(神山)、長尾慶作(松野木)、工藤東太郎(福岡) 石岡治男(若山)、横島岩太郎(石田坂)、中山幸一(戸沢)、中川竹次郎(豊成)

松島地区

寺田十三雄(吹畑)、橘喜三郎(唐笠柳)、寺田市太郎(石岡)、太田秀次郎、笹森登一(水野尾)、吉村喜右エ門(漆川)、野呂兼広、藤森幸悦(太刀打)、三浦征市、小野千代造、小野徳右エ門(一野坪)、木村秀昭(馬性)、村田定次郎、工藤常雄、工藤武雄、渋谷武則(金山)、平田正五郎(二本柳)、対馬貞市(米田)、工藤房一(松島団地)



飯詰地区

前田勘四郎(坂ノ上南新) 和島豊吉(北新中町)、前田惣作(新町大町)、横山政吉(伝助町下町)、竹林房雄(上町寺町)、平山与三郎(大日町大正町)、田中正雄(下町)、竹林誠逸(南下中下)、葛西兵市(長坂味噌ヶ沢)、其田良逸(東岩崎西岩崎)、坂本四郎(曙)

七和地区

堀内金右エ門、小笠原幸助 福士光男(高野)、斎藤定吉、新谷彦司(前田野目) 阿部兵太郎(持子沢)、松山与四郎(羽野木沢)、外崎松四郎(俵元)、伊藤辰之助、小林市太郎(原市)

毘沙門地区

佐藤善エ門、山口竹男、成田一雄、山口吉太郎、山口栄太郎(毘沙門)、増田武徳(上長富)、猿賀金蔵(中長富)、原田信英(下長富)

梅沢地区

戸沢辰五郎(上梅田)、鈴木長松(中梅田)、竹谷喜八(下梅田)、関啓一、小山内豊吉(中泉)

お産と出血



西北中央病院

五所川原市全体で、昭和四十年中に、約九百人の赤ちゃんが生まれました。

これだけの数の赤ちゃんが、生まれるために、そのお母さんたちには、いろいろなお苦労があります。

その中で、最近問題になつてきたのは、お産の時の出血多量で、死ぬお母さんが、昔にくらべてほとんど減つていないということです。

お産で、からだ全体の三分の一以上の血液が出て、死亡することもあります。

もちろん、栄養その他の妊娠中の注意も、出血を少なくするために大切ですが『いざ』という時の備えが

あつて、はじめて安心といえるでしょう。

お産の大出血に対しては飲む薬や注射薬よりも『血液』が、効果的であることが多いのです。

アメリカでは、一人のお母さんが、お産をする準備として、十五人の血液提供者を、前もつて決めておくそうです。

五所川原のお母さん方にも、アメリカ式に……とは云いませんが、娘さんのためにも、奥さんのためにも自分自身のためにも、健康な時に献血しておくことが大出血による『お母さん』の死亡を減らすことに、非常に役立つのです。

県営土地改良事業計画をたてるため、当市全域に県職員が入り調査や測量をおこないますから、市民のみなさまご協力ください。

◇ 立入 期間 ◇

昭和41年4月1日から
昭和42年4月31日まで

黄色い帽子に
大喜び

児童を交通事故から守ろうと、市では、ことしも市内の新しく入学したお子さんたちに、黄色い帽子をおくりました。

七日の入学式に、帽子をかぶせてもらい、大喜び！
△写真：南小学校で▽



おしーらせ

県外に働きにいく
みなさんへ

最近、県外で出稼ぎしているみなさんのなかで、出稼先での条件の食いちがい賃金の不払い、手配師などのピンハネ、あるいは、留守家庭の事故などが、多くおこっております。

そのため県では、出稼ぎにいくみなさんが、できるだけ良い条件で働けるようとして、留守家族も安心して留守を守れるようにするため、身分証明書のついた就労手帳を、お渡しすることになりました。

必らず、市福祉事務所に届出して、就労手帳を持参するよう、願います。

行政の苦情などは
行政相談員へ

行政についての国民の苦情や、意見、要望などをきき、これの解消をあつせんして、行政の民主化をはかるため、青森行政監察局では、行政苦情相談の業務をしております。

行政に対する苦情は、直接、青森行政監察局に手紙電話、口頭で申し出て結構ですが、身近かで、簡単に相談できるように市町村に行政相談委員があります。苦情や意見、要望のある

方は、ご遠慮なく気軽に委員に申し出てください。

監察局では、委員からの連絡によつて、関係の行政機関にこれをおつせんし、その結果を、委員を通じて申出人にお知らせします。

◇当市の委員

姥 薮 坂本 甚作
敷島町 小嶋 トシ

福祉年金受給権者は 定時所得状況届を

老令、障害、母子福祉年金を受給している方は、毎年、定時所得状況届を提出することになっております。この届出をしませんと、五月以降の福祉年金が受給できませんので、お忘れなく届出してください。

市役所では、つぎの日程により、受けつけをいたしますから、国民年金証書と印かんをお持ちになつて、市役所保険課国民年金係においでください。

▽五月十六日 中川、昆

沙門、長富、梅沢地区

▽五月十七日 栄、松島

地区

▽五月十八日 三好、七

和地区

▽五月十九日 長橋、飯

詰地区

▽五月二十～二十一日

五所川原地区

春の全国交通 安全運動にご協力を

認みましょう。

春の全国交通安全運動は五月十一日から、五月二十日までの十日間、全国いっせいに展開されます。今回の運動はとくに、歩行者の安全確保、酒酔い運転の追放の二つの重点をかが、強力に推進することになっておりますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

車を運転中の方には、酒酔い運転は、あなた自身の心一つで、追放できます。(五所川原警察署)

◇歩行者の交通を
安全にするため◇

歩行者は、横断歩道を正しくわたりましょう。

歩行者の交通を、安全に守つてやりましょう。

児童、幼児の通行を安全に、みんなで保護しましょう。

◇酒酔い運転を
追放するため◇

酒酔い運転の危険性を確



溝は、毎週一回の掃除を願います。

▽官公署、病院等は、簡易焼却炉の設置を願います

▽河川、湖沼、堤防、その他公共の場所に、ごみやし尿を絶対すてないようにしてください。

▽ごみ箱には、魚その他生物(ちゅう芥類)を入れないでください。生物は普通のごみと別にし、ポリエチレンなどの袋に入れ、運搬しやすいように願います

妊婦に腹帯用
ブラゼント

市役所では、母体保護のため、四月一日から、妊娠届をされた妊婦さんに『さらし』一反(腹帯用)をおくります。

▽対象：市内に住んでいる妊娠五か月以内の妊婦

▽手続き：妊娠五か月以内に、母子手帳と印かんを持つて、保険課衛生係かよりの支所(栄、松島支所を除く)へおいでください